

# v4.5SR1aJのご紹介



JBService

株式会社ジェー・ビー・サービス



# 目次

1. **SecureDoc v4.5 ハイライト(クライアント)**
2. **SecureDoc v4.5 ハイライト(SES)**
3. **修正された機能**

## SecureDoc v4.5SR1aJハイライト (クライアント)

- ✓ USBポート制御機能の追加
- ✓ CD/DVD暗号化機能の追加
- ✓ UPEK指紋認証デバイス対応
- ✓ 自己復号型ファイル暗号化機能の追加
- ✓ デジタル証明書によるUSBメモリ暗号
- ✓ ブートログオンのグラフィック化

## USBポート制御機能の追加

- USBポートコントロール機能が追加されました。

- ✓ USBポートコントロールは、許可されていないUSBデバイスの使用を禁止します。
- ✓ 許可されたUSBデバイスは、モデル名、あるいはシリアル番号によって設定することができます。
- ✓ ディスクアクセスコントロールは、ドライブ(リムーバブルメディア)への書き込みや読み込みを制御しますが、USBポートコントロールはUSBデバイス(ストレージに限らず、プリンタ等も含め)の使用を禁止します。

※「Human interface devices」は、マウスやキーボードに関連するため許可するデバイスのリストから削除できません。

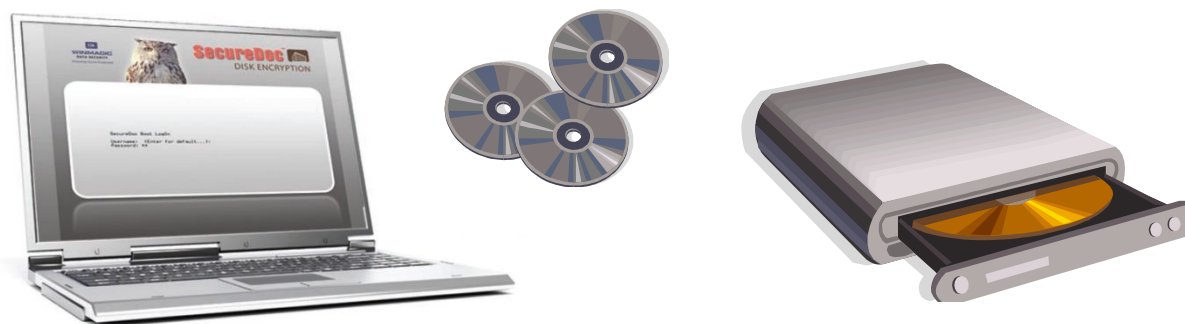
※トークンベースのキーファイルを利用している場合は、トークンを許可するデバイスに追加する必要があります。

## CD/DVD暗号化機能の追加

- CD/DVD暗号化機能が追加されました。

- ✓ この機能を設定した端末では、CD/DVDを作成するたびに、自動的にCD/DVDがセクターレベルで暗号化されます。

※対応メディア: CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-RAM



※CD/DVDは、暗号化されると復号化や再度暗号化することはできなくなります。暗号化は、中断されると再開できません。

# UPEK指紋認証デバイス対応

## ・ プリブートでUPEK指紋認証デバイスに対応

- ✓ 様々なPCが搭載している指紋認証リーダーにプリブートで対応
- ✓ パスワードでのログインに比べ、セキュリティの向上、パスワード忘れに対応出来ます。

※プリブートでUPEK指紋認証装置をご利用になる場合は、事前に動作確認をお願い致します。



## 自己復号型ファイル暗号化機能の追加

- 自己復号型のファイル暗号化機能が追加されました。
  - ✓ 個別/複数のファイルを自己復号形式で暗号化することができます。復号化にはパスワードのみを使い、SecureDocやその他のソフトウェアは不要です。



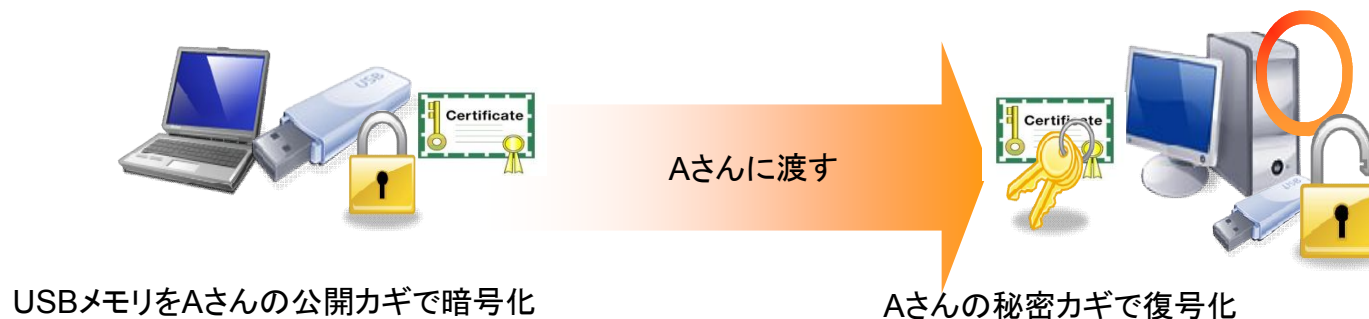
実行すると、パスワード  
入力が求められます。



# デジタル証明書によるUSBメモリ暗号化

## • デジタル証明書によるUSBメモリ暗号化

- ✓ データを共有したい人が使用している公開鍵で暗号化することにより、その公開鍵と対となる秘密鍵を持っている人のみ、閲覧、修正が可能になります。





# ブートログオンのグラフィック化



- PCの電源投入直後、ログイン画面表示 (日本語表示も可能)
- ID/パスワードが分からなければPCを起動することはできない
- USBトークン、ICカード、指紋認証、PKIも利用可能
- 背景の画像の差し替えも可能

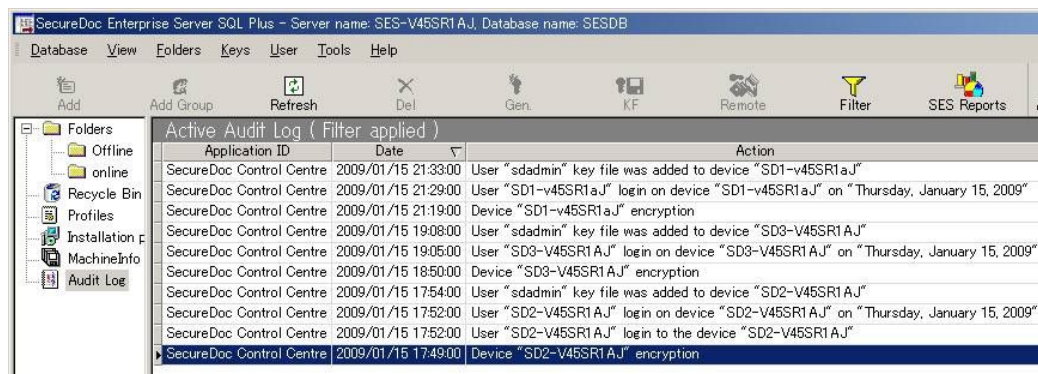
## SecureDoc v4.5SR1aJ ハイライト (Enterprise Server)

- ✓ オンライン運用の場合、クライアントのAuditLogが自動的にSESで閲覧可能になりました。
- ✓ レポート機能が追加されました。  
オンライン運用をした際にサーバ側でクライアントの展開状態をグラフによって確認することが可能です。
- ✓ オンデマンドキー機能が追加されました。
- ✓ Active Directory連携が強化されました。

## SESでのAuditLogの閲覧

- オンライン運用の場合、クライアントのAuditLogをSESで閲覧可能になりました。

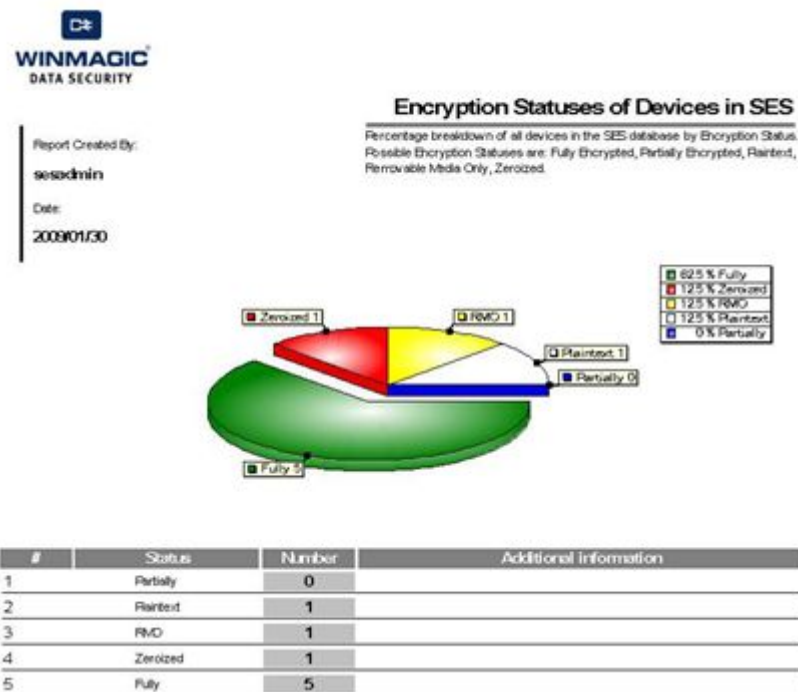
- ✓ オーディットログには、ユーザの作成、フォルダの削除、カギのユーザへの割り当てなど、SESで実行されたすべてのアクションが記録されます。また、各クライアントのブートログオン及びSecureDoc Control Centerへのログイン時間、ディスクの暗号化/復号化の終了日時など、クライアントPCで実行された重要なログが記録されます。



Application ID	Date	Action
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 21:33:00	User "sdadmin" key file was added to device "SD1-v45SR1aJ"
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 21:29:00	User "SD1-v45SR1aJ" login on device "SD1-v45SR1aJ" on "Thursday, January 15, 2009"
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 21:19:00	Device "SD1-v45SR1aJ" encryption
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 19:08:00	User "sdadmin" key file was added to device "SD3-V45SR1AJ"
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 19:05:00	User "SD3-V45SR1AJ" login on device "SD3-V45SR1AJ" on "Thursday, January 15, 2009"
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 18:50:00	Device "SD3-V45SR1AJ" encryption
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 17:54:00	User "sdadmin" key file was added to device "SD2-V45SR1AJ"
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 17:52:00	User "SD2-V45SR1AJ" login on device "SD2-V45SR1AJ" on "Thursday, January 15, 2009"
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 17:52:00	User "SD2-V45SR1AJ" login to the device "SD2-V45SR1AJ"
SecureDoc Control Centre	2009/01/15 17:49:00	Device "SD2-V45SR1AJ" encryption

# SESレポート機能

- **SESでレポート機能が追加されました。**
  - ✓ インストール状況がグラフ化され、インストールの進捗(何月何日に何台暗号化が完了したか、等)の状況が、明示的に分かりやすく表示されるようになりました。



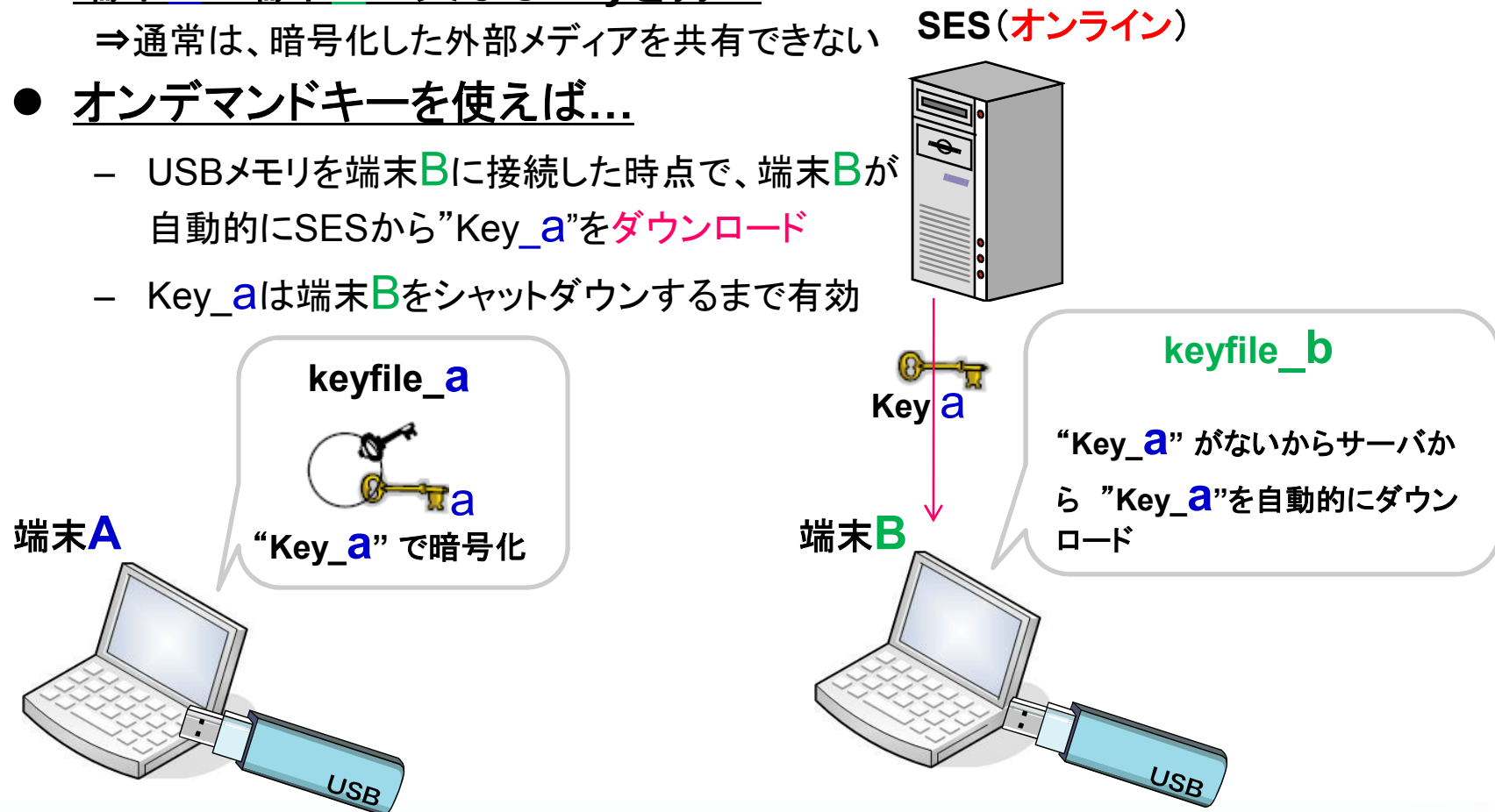
# オンデマンド機能

- 端末Aと端末Bは異なるKeyを持つ

⇒通常は、暗号化した外部メディアを共有できない

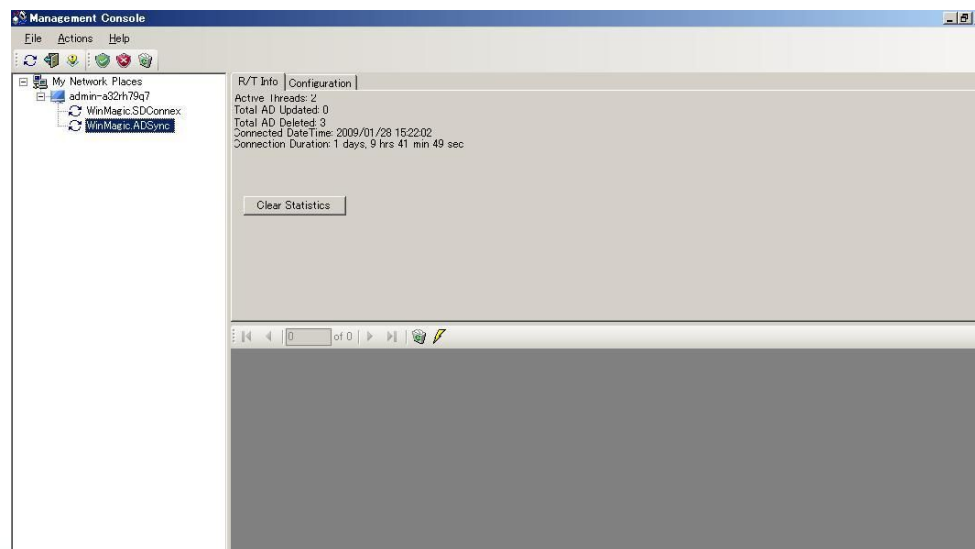
- オンデマンドキーを使えば...

- USBメモリを端末Bに接続した時点で、端末Bが自動的にSESから”Key\_a”をダウンロード
- Key\_aは端末Bをシャットダウンするまで有効



# Active Directory連携の強化

- **Active Directory連携が強化されました。**
  - ✓ Active Directory上から、ユーザの作成・削除をした場合、自動的にSESに同期を行うことが可能になりました。
  - ✓ Active Directory連携機能がWindowsサービスに登録されるようになり、Windowsログオフ状態でもSES同期がされます。
  - ✓ また、同期先を組織単位(OU)で選択する事が可能です。



※2バイト(日本語)の組織名(OU)は非対応です。

## 修正された機能

- ✓ ディスク変換(暗号化/復号化)の進捗状況(プログレスバー)が、**Windows Vista**でも正常に表示されるようになりました。
- ✓ **シングルサインオンが改善されました。**  
チャレンジ&レスポンスによりログインしたユーザは自動的にWindows にログインし、SecureDoc のパスワードを変更するように要求されます。
- ✓ **Windows Vista でフロッピーディスクが暗号化できるようになりました。**
- ✓ **Windows パスワードとSecureDoc パスワードの同期機能が改善されました。**  
Windowsパスワードを変更すると、そのパスワードがSecureDoc パスワードとして同期されます。また、SecureDoc パスワードを変更した場合も、そのパスワードがWindows パスワードとして同期されます。ただしこの機能は、Vista では利用できません。
- ✓ **ビルドインSDカードスロットに対応しました。**  
PC備え付けのSDカードスロットに接続されたSDカードも暗号化できるようになりました。

# 過去のバージョンとの比較

機能	v4.3J	v4.5SR1aJ
CD/DVDメディア暗号	×	○
CD/DVDドライブ制御	×	○ 使用禁止 暗号化時のみ書き込み可
SDカードの暗号化	△ USBリーダー経由のみ	○ ビルドインにも対応
ファイル暗号	△ 閲覧にはSecureDocか FileViewerが必要	○ 新たに自己復号化ファイル暗号を 追加
USBデバイス制御	×	○(ポートコントロール) USBポートの使用禁止が可能(デ バイスの種類やシリアル番号により、 使用を許可)
UPEK(指紋認証セン サー)対応	×	○



# 過去のバージョンとの比較

機能	v4.3J	v4.5SR1aJ
外部ドライブ暗号	SecureDocの鍵 パスワード	デジタル証明書 オンデマンドキー SecureDocの鍵 パスワード
Windowsと SecureDocのパス ワード同期	△ SecureDocのパスワード を変更してもWindowsの パスワードは変更されな い	○ Windows→SecureDoc、 SecureDoc→Windowsの双方向の パスワード同期に対応
Active Directory 連携	△ ユーザのインポートのみ	○ 連携強化、AD上に存在しないユーザ のインストールの禁止など
インストール状況の 把握	△ データベース上で1台ずつ 確認	○ レポーティング機能として、グラフで暗 号化状況、展開の進捗状況を把握